



地震だったので予測できていなかった。なおかつ東京より西の方が危ないといわれていましたからね。今後は予知よりも起きることを想定して、例えばインフラの構築にしても、津波への強固なシェルターをつくり食品・医薬品などを備蓄しておく、さらにコンビニを強化して備蓄を日常的に確保するなど、起きた場合への対処に資源を有効に使うべきだと思うのです。

姜 やはり歴史から真摯に学ぶことが必要です。1000年もの昔にあつたとされる貞観地震も、地層を調べると砂と泥の周期によって津波の水位がわかっていたようです。蓋然性(がいぜんせい)の問題もありますが、過去に遡ると日本の津波や災害の様子は、文献や地質学から見てもわかります。現状を調べるより歴史を調べた結果の方が信頼できるのではないのでしょうか。

渡辺 テレビ局が地震の特番を組



貞観地震(869年)と同様、今回の震災でも大きな被害を受けた(宮城県南三陸町)

むと、どうしても見てくださる方の関心を引こうと予知を入れます。しかし実際起こった時に自治体はどう機能するか、人々はどんな心構えを持ち、行動すべきかという、とても大事なところが後回しになりがちな面もあります。今回の体験がこれからの地震への対応の確実な一歩になってくれれば良いと願います。

姜 どうも自治体はランドスケープというか地域の景色をきっちり把握していなかったのではないのでしょうか。風土とか地形、生活の空間、そこで有機的に営まれて暮らした様子、これがランドスケープですから、それをただ抽

これからのエネルギーを考える

渡辺 今回は自然の威力の大きさに対して、原発など私たちが頼りすぎた科学技術の限界を見る思いですが、いかがでしょうか。

姜 世界も国によって原発への対応が分かれていますね。ドイツは原発に向かうようですが、原発依存度の高いフランスはそう簡単ではない。アメリカはその中間くらいでしょう。私たちは原子力や原発について高度な知識や精密なコンピューターの設計や制御に目を奪われていますが、実際に原発を動かしているのは生身の作業員なので、彼らがいなければ汚染水を排水できない、冷却注水もできないのです。科学技術の高度なシステムはそれだけでは完結できず、

人間の作業が不可欠、現在の苦境はそのことを私たちが軽視しすぎた結果だとも思います。

渡辺 それでも人の生活にはエネルギーが必要です。これからはどのようになると思われませんか。

姜 国民的議論を起こしていけばいいのです。その上で、消費量を考えて電力源を多元化する。風力、太陽光、太陽熱、地熱、バイオマスなどいろいろあります。たとえば日本の周辺で電力資源を持っているのはロシアですが、いつもは反日的な論調の多いモスクワの新

聞でも今回は日本への援助が示されましたし、具体的には東ロシアの天然ガスや石油の供給などの準備もはじまったようです。他にも日本をサポートしようという国が100数カ国もありました。日本は世界の国からそれだけ重んじられていることを念頭において、各家庭では例えば太陽光発電などを積極的に取り入れていくことが大切です。

渡辺 ドイツなどは太陽光発電が進んでいますね。

姜 日本では一挙には進まないで

渡辺 ドイツなどは太陽光発電が進んでいますね。

姜 東北に非常事態に備え県境を

地域の力企業の力を

越えたブロックをつくっておくべきでした。先だつてのアメリカでのトヨタの問題も、現地にリコーの権限を与えられていなかったという教訓でした。今回も東北ブロックの核となる政令指定都市に、災害に対応できる判断と技術力を持った人材と設備が置いてあれば、伝達も対応ももっと迅速で確実だったのではないかと思いますね。

渡辺 企業はすでに力強く活動をはじめようとしています。企業と経済に与えたインパクトはどうご覧になっていますか。

姜 世界有数の漁港の崩壊はお金には換算できない損失です。漁業があつてはじめて町や生活が根つき広がるのです。そして最近是世界の部品素材のサプライチェーン

姜 日本では一挙には進まないで

必ず甦る 日本と日本人

東日本大震災を乗り越えてつくり出す国の姿とは



姜 尚中 かん さんじゅん

東京大学大学院 情報学環・学際情報学教授

1950年熊本県生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科博士課程修了。旧西ドイツ、エアランゲン大学に留学の後、国際基督教大学助教授・準教授などを経て現職。専攻は政治学、政治思想史。テレビ・新聞・雑誌などで幅広く活躍。主な著書に「オリエンタリズムの彼方へ―近代文化批判」、「マックス・ウェーバーと近代」、「ナショナリズムの克服」、「姜尚中の政治学入門」、「日朝関係の克服」、「在日」、「ニッポン・サバイバル」、「愛国の作法」、「脳む力」、「母〜オモ」など。



大津波により土砂に埋もれたJR山田線の線路(岩手県大槌町)

※3 工場の生産工程で、部品を工場内に在庫として置かず、下請けに必要な分だけ注文する方式。厳密な工程の管理、売れ筋の予測が不可欠。